

みんなで出掛けよう！

# 佐世保見どころマップ



九十九島 佐世保港外から平戸瀬戸までの約25kmの海上に連なる208の島々を指し、島の密度は日本一といわれています。とりわけ、島々の緑や海に沈む夕日の景色は、見る人に感動を与えてくれます。

## 見どころ満載 佐世保の観光

本市は、九十九島やハウステンボスをはじめとする豊かな観光資源を生かし、観光産業の振興に取り組んでいます。近年の市町村合併で市域が広がり、新たな観光資源が増えました。今回は、市内の観光地や観光振興への取り組みなどを紹介します。

### 観光立市を目指して

本市は、明治19（1886）年に旧海軍鎮守府が設置されて以来、急速に発展したまちです。その後人口も急増し、明治35（1902）年に全国で54番目の市となりました。第二次世界大戦前は軍港として、戦後は米海軍や自衛隊の基地と共存しながらも、港湾産業都市として栄えました。

昭和30（1955）年、九十九島が、平戸諸島や五島列島などと共に西海国立公園に指定されました。これは、観光立市を目指す本市のかねてからの念願であり、以後、本市は景勝地としても脚光を浴びるようになりました。

平成6年には、九十九島の魅力を伝える施設として、西海パールシーリゾートが開業し、年間百万人以上の観光客が訪れています。また、その2年前の平成4年には、自然の中で快適に生活できるまちづ

くりを理念とする国内最大級の滞在型リゾート施設として、ハウステンボスも開業しており、現在、この二つの観光資源を中心に、観光産業の振興に取り組んでいます。

### 新たな観光資源を生かして

昨年4月1日の吉井・世知原地域ことし3月31日の宇久・小佐々地域との合併で、「御橋観音」「世知原茶」「大浜海水浴場」「冷水岳」などの観光資源が加わり、佐世保がさらに魅力を増しました。

市では、本市の自然や歴史文化・産業などを生かし、体験・学習型の観光「エコツーリズム」を研究しながら観光を推進しています。

今後は、佐世保ならではの豊かな自然環境と既存の観光資源を調和させた新しいコンセプト（発想）の観光を、市内外に発信していく予定です。

### 新しい観光ガイドブックができました！

宇久・小佐々地域の観光地も紹介されている、ポケットガイドブック（写真左）が、佐世保観光コンベンション協会から発行されました。持ち運びやすくポケットサイズに折りたたまれ、広げると大きな市内の地図も掲載されています。

ガイドブックは、無料で配布中です。ぜひ、ご活用ください。

【配布場所】佐世保観光情報センター（JR佐世保駅構内）  
市役所観光課、各行政センターなど

【お尋ね】佐世保観光情報センター（☎0956-22-6630）

